

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



酒井健全日本銃剣道連盟会長から
高松宮記念杯を受けとる 藺田泰之 錬士六段

高松宮記念杯争奪 第22回

全日本銃剣道選手権大会



決勝＝藺田の上胴



開会式

初出場の 蘭田泰之が優勝

高松宮記念杯争奪第22回全日本銃剣道選手権大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）が、8月8日、日本武道館で開催された。前回入賞者と都道府県予選を勝ち上がった計63名の選手が出場し、銃剣道日本一を争って白熱した試合を繰り広げた。

決勝は初出場の蘭田泰之（長崎）とベテランの田尻竜三（熊本）の対戦となり、蘭田が田尻に二本勝ちして優勝を手にした。3位には齊藤孝教（高知）、久保田幸希（鹿児島）が入賞した。

試合はトーナメント方式で行われ、5分間三本勝負、時間内に勝負が決しない場合は時間無制限の延長戦で勝敗を決する。

◆序盤戦

第1ブロックからは、昨年の国体優勝メンバーの原田将興（熊本）が4回戦に勝ち進む。一方、齊藤孝（高知）が3回戦で、原田と同じ国体優勝メンバーであった角康大（沖縄）を破り、4回戦へ。

第2ブロックでは、まず南脇章吾（宮崎）が4回戦進出を決める。また、初出場の蘭田泰之（長崎）が4回戦





決勝＝蘭田（左）が二本目の上胴で優勝を決める

へ駒を進めた。蘭田は1回戦で梶原千春（大阪）、2回戦で菅野学（福島）、3回戦で増本和也（北海道）を破った。このブロックには、一昨年の選手権者で前回準優勝の坂元誠（静岡）が名を連ねたが、2回戦で増本に敗れ、はやくも姿を消していた。

第3ブロックは、昨年の国体優勝メンバーで、本大会でも準優勝経験を持つ田尻竜三（熊本）が4回戦へ進んだ。田尻は2回戦で、4月の優勝大会の決勝大将戦で戦った小野雄大（宮城）をふたたび降し、3回戦で本大会3位入賞歴のある宮添勇（山口）との試合を制した。4回戦の対戦相手には、初出場の平島直樹（福岡）が、3回戦で前回3位の松野和樹（東京）を破って上がってきた。

第4ブロック、本大会準優勝・3位入賞経験のあるベテラン・根本努（神奈川）が、若い選手を押さえて4回戦へ進出する。昨年優勝の日高雅光（福岡）は初出場の縄田剛太郎（埼玉）に敗れて2回戦敗退。その縄田を、やはり初出場の久保田幸希（鹿児島）が降して、4回戦での根本と久保田の対戦が決まった。

◆ 4 回 戦

齊藤 孝 上― 原田将興

軽快な足捌きで突きを繰り出す原田に対し、齊藤はどつしりと構えて力強く攻める。中盤、近間になったところで、齊藤は、離れ際に原田の木銃を押さえつけて上脰を押し込み、先制する。原田は技を決めることができず、齊藤の一本勝ち。

藺田泰之 上― 南脇章吾

南脇はなかなか技が出ない。藺田は前後にステップを踏むように動きながら積極的に攻めていくが、中盤は膠着状態が続く、両者反則を取られる。その後もともに決め手なく試合は延長に突入する。試合が動いたのは延長開始から9分、南脇が間合いを切つて下がったところ、藺田はフエイントをかけて裏から上脰を突き、試合を決めた。

田尻竜三 上上―上 平島直樹

開始から膠着状態となり、両者反則を取られる。再開し、平島はじりじりと前へ寄ると、後ろに下がった田尻が前へ出てきたところに合わせ

4 回 戦



4 回戦第2 試合＝藺田（左）が上脰を決める



4 回戦第1 試合＝攻める齊藤（左）

選手コメント

◎前年度優勝Ⅱ高雅光選手（福岡）

「前回優勝してプレッシャーはあったんですけど、1 試合1 試合乗り切ったいこうと思っていました。精一杯でした。まだまだ足りなかったっていうことですね」

◎前年度準優勝・第20 回大会優勝

Ⅱ坂元誠選手（静岡）

「訓練で怪我をしてしまい、2 週間前からようやく今日のための練習を始めることができました。そんな状態で臨まなければならず、大会に対して申し訳ない気持ちでした。2 年前に現役を引退しているのに、選手権大会もこれが最後になりました。最後にするには不甲斐ない結果でした。もうちょっとやりきったという感じが欲しかったですね。自分もいろいろな大会で結果を出すことができたので、これからは同じ思いの後輩ができるよう、いい選手を育てていきたいです」

◎ベスト8Ⅱ原田将興選手（熊本）

「やっぱり選手権大会の試合の組み立ては難しいなと思いました。他の大会とは違った緊張感があつて勉強になりました。また日々頑張っていきたいと思います」

◎ベスト8Ⅱ南脇章吾選手（宮崎）

「今日は目の前の試合ひとつひとつに集中できたことで、ここまで勝ち上がってこられたと思います。園田選手とは九州同士なのでよく対戦します。伸びてきている選手で、今日も強かったですね」

て上胴で一本。それから間もなく、田尻が平島の出端に脱突の上胴を決める。同点のまま終了時間を迎え、延長戦へ。慎重な動きで勝負がつかない中、突きに出た平島が引き退がるところをとらえて田尻が上胴を奪い、15分を越える延長戦を制した。

久保田幸希 下― 根本 努

一進一退の攻防が続くが、得点のないまま時間が経過し、延長にもつれこむ。延長開始から8分、離れ際に、久保田が素早く腰を落として突きを放つと根本は反応できず、剣先はしっかりと下胴をとらえ、久保田の準決勝進出が決まった。

◆準決勝

蘭田泰之 上― 齊藤 孝

もともと同じ部隊の先輩・後輩だった二人は、激しい技の応酬を繰り返す。開始から3分、近間での攻防からの離れ際に、蘭田が齊藤の木銃を押さえつけて、押し込むように上胴を突いて一本奪う。直後には、齊藤が蘭田の出端に下胴を合わせると副審一人の旗が上がる



4回戦第4試合＝久保田（左）が下胴で根本を破る



4回戦第3試合＝田尻（左）が上胴で試合を決める



相互理解・友好親善のため来日中のニュージーランド陸軍関係者が大会に会場、特別演武「銃剣道の形」や試合を観覧した

◎ベスト8 平島直樹選手（福岡）
「初戦は緊張しましたが、みんなの応援があったので、その後はのびのび戦うことができました。去年、同じ部隊の先輩の日高選手が優勝したことは、私たち後輩にとって良い刺激になりました。優勝とまではいかなかったけれど、一歩近づくことができましたかと思えます」

◎ベスト8 根本努選手（神奈川）
「転属で防衛大学の職員となつてからはあまり練習できていませんでした。自分の取りたいポイントを絞って、攻め時と守り時を見極めて戦つたことで4回戦まで行けたのでよかったです。チャンスがあれば来年もまた出たいと思います」

惜しい場面もあったが、蘭田が一本勝ちで決勝に進んだ。

田尻竜三 カコーノ 久保田幸希
牽制し合つてともに技が出ない中、先手を打ったのは田尻。久保田が田尻の木銃を押さえようとしたのをすかして、そのまま肩で一本奪った。取り返そうと反撃に出る久保田は、前へ攻めていき、田尻が守りに入つたところに脱突のノドを決めて延長に持ち込んだ。延長開始1分、田尻は遠間から技を出し、久保田の手元が上がつたところで小手を突いて試合を決めた。

◆決勝

蘭田泰之 上上ー **田尻竜三**

初出場の蘭田と、5年ぶり決勝進出の田尻の対戦。果敢に前に出ていく蘭田は、開始から30秒、田尻の木銃を裏から払って上胴を奪う。後がなくなった田尻も積極的に攻めていく。3分、田尻がじりじりと前に詰めると、蘭田は大きく下がって十分な間合いを取り、田尻の出端に上胴を決め、日本一の栄冠を手にした。

準決勝

左・準決勝第1試合＝
蘭田（左）が上胴を奪う

下・準決勝第2試合＝
田尻（左）が小手を決める



決勝



決勝戦＝蘭田（右）が上胴で先制する

選手コメント

◎準優勝Ⅱ田尻竜三選手（熊本）



「また2位でした。蘭田選手とは国体とか練習試合でよく戦いますが、強かったですね。言い訳にはしたくないんですけど、延長が多かったのも、もう体力の限界でした。若い選手との試合はやっぱりきついです。粘り強く戦えたことは、次に繋がるかなと思います。体力面を何とかして、あとはもう技がバレてしまっているの、もういちど磨き直します」

◎第3位Ⅱ齊藤孝選手（高知）



「2年前に高知に転属しましたが、それまでは長崎で蘭田選手とバディを組んでいました。切磋琢磨した仲間なので、思いきっていったんですけれど、若さと勢いにやられました。悔しさもありますが、それよりも嬉しい気持ちの方が大きいんです。よくここまで強くなった

足を使った自分らしい試合で日本一を獲得

◎優勝Ⅱ 蘭田泰之選手（長崎）

初出場で優勝

「まだ信じられないです」

初出場での日本一に、嬉しい戸惑いを隠せない。

「初出場ですし、久しぶりの個人戦なので、緊張や不安と、〴〵やってやる」という気持ちが入り混じっていましたが、始まると平常心で戦えました。勝因は、足を使った試合が常に来たことだと思います」

ベテラン選手との対戦

決勝は、田尻竜三との対戦。練習



試合や他の大会で何度も対戦したことがあった。

「これまでの対戦では、分は悪かったですね。だけど今日は、もう二度とこの場には立てないかもしれないから、全てを出し切って絶対勝つと、自分を鼓舞して戦いました」

また、準決勝ではかつて同じ部隊にいた先輩・齊藤孝と対戦した。齊藤とは訓練のバディを組んでいたほど、近い存在だった。

「齊藤選手に習った剣がいくつかあるので、それで勝ちたいと思っていました」

思ったとおりの剣で齊藤を破ることができたというが、それは、4回戦で齊藤が相手から一本取った場面の再現のようだった。教えがしっかりと伝わっていたのだろう。

「勝つことで恩返しできたのではないかと思います」

駆け引きが銃剣道の魅力

銃剣道は高校1年の頃に始めた。

「自衛官だった父の影響で、将来は自衛官になると両親に話していました。それで父に薦められて、OBの方から銃剣道を教わるようになりました。夏休みには地元の16連隊の訓練にも混ぜてもらっていました」

それまではバスケットボールをしていた。異なる競技に触れて感じたことは……。

「武道というものが初めてだったので、うまく言えないですけど……楽しかったですね。銃剣道ならではの駆け引きが魅力でした」

今日の試合のイメージを大切に

「これまでは、試合によって自分の試合ができたりできなかったりで、負けるときは徹底的に負けていました。だからこれからの大会では、今日の試合を常にイメージして、自分の試合をできたらいと思っています」

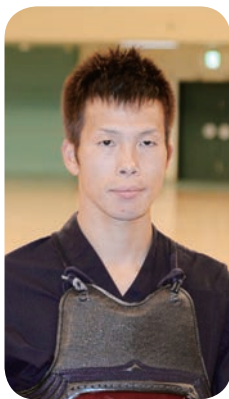
来年は出場枠が確保される。次について尋ねると、力強く答えた。

「目標は2連覇です」
直近では10月に地元・長崎で開催される国体が課題だという。全日本選手権者として、地元の大きな期待が寄せられる。

というか。そこまで言える立場でもないですけどね。

高知では、コーチも兼任しています。後輩に指導するにあたって、自分もそれなりのことをしなければという思いがありました。ですから、長崎にいるときより訓練にも稽古にも一生懸命というか、自分のためだけではなく後輩隊員のためにも取り組んできました。それが、ここまで来られた成績に繋がったのではないかと思います」

◎第3位Ⅱ久保田幸希選手（鹿児島）



「初めての大会だったので挑戦する気持ちで臨みました。他の大会とは雰囲気などが全然違い、緊張もありましたが、とても楽しかったです。田尻選手は自分が銃剣道を始めたときから活躍していた選手なので、こういう舞台で戦えて嬉しかったです」

素晴らしい剣を持つている方々との対戦で自分の銃剣道がどこまでできるかというのが今日のテーマでしたが、それがうまく噛み合っただけで来られたのだと思います。だけど最後の小技は全然頭にありませんでした。また基本から作り直し、全国に通用するような技を磨いていきたいと思っています」

第22回 全日本銃剣道選手権大会

称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県	称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県
錬六 2	勝又 秀太	(静 岡)		錬六 2	田守 昭夫	(三 重)	
錬六 3	高橋 克徳	(茨 城)		錬六 初	山崎 隼人	(長 崎)	
錬六 初	中谷 和彦	(山 口)		錬六 3	東川 智彦	(福 井)	
錬六 初	原田 将興	(熊 本)		錬六 5	宮添 勇	(山 口)	
錬六 初	阿部 勝行	(岩 手)		錬六 初	丸山 辰也	(山 梨)	
錬六 5	大榎 達宏	(北海道)		錬六 初	小野 雄大	(宮 城)	
錬六 2	小園 貴令	(兵 庫)		教六 4	土谷 一裕	(和歌山)	
錬六 初	栗原 惇	(千 葉)		錬六 7	田尻 竜三	(熊 本)	
教七 4	齊藤 孝	(高 知)		錬六 初	佐藤 弘一	(北海道)	
錬六 4	阪本 正範	(長 野)		錬六 初	平島 直樹	(福 岡)	
錬六 初	川村 貴嗣	(東 京)		錬六 3	好中 大哲	(香 川)	
錬六 2	竹島慎一郎	(鹿児島)		錬七 8	滝沢 賢	(群 馬)	
錬六 3	渡邊 和行	(青 森)		錬六 2	長谷川博昭	(石 川)	
錬六 5	角 康大	(沖 縄)		錬六 初	小倉 弘之	(静 岡)	
錬六 初	橋口 充	(滋 賀)		錬六 3	富樫 貴臣	(山 形)	
錬六 2	八岡 慎吾	(愛 知)		錬六 4	松野 和樹	(東 京)	
錬六 3	南脇 章吾	(宮 崎)		錬六 初	箕輪 卓	(新 潟)	
錬六 2	大庭 勇希	(栃 木)		錬六 2	菊地 貴文	(静 岡)	
錬六 初	川原純一郎	(徳 島)		錬六 3	齊藤 正頼	(大 分)	
錬六 初	竹中 救利	(福 岡)		教七 9	根本 努	(神奈川)	
錬六 2	木下 元揮	(愛 知)		錬六 初	十倉 久幸	(京 都)	
錬六 2	近藤 英治	(宮 城)		教七 7	上井 周平	(鳥 取)	
錬六 3	矢上 智之	(広 島)		錬六 3	六鎗 俊昭	(北海道)	
錬六 初	山内 孝地	(北海道)		錬六 2	佐々木尋彦	(秋 田)	
錬六 初	園田 泰之	(長 崎)		錬六 3	竹村 和剛	(愛 媛)	
錬六 2	梶原 千春	(大 阪)		錬六 4	齋藤 慎一	(福 島)	
錬六 初	菅野 学	(福 島)		錬七 3	竹村 和城	(奈 良)	
錬六 5	木村 智宏	(埼 玉)		錬六 初	久保田幸希	(鹿児島)	
錬六 初	増本 和也	(北海道)		錬六 初	縄田剛太郎	(埼 玉)	
錬六 初	稲葉 匡太	(鳥 取)		錬六 初	小川 淳	(愛 知)	
錬六 7	廣瀬 敬久	(富 山)		錬六 初	上田 啓二	(岡 山)	
教七 9	坂元 誠	(静 岡)		錬六 3	日高 雅光	(福 岡)	

優勝
園田 泰之

準優勝
第3位
久保田幸希 齊藤 孝 田尻 竜三



特別演武「銃剣道基本・応用技」
山口あや子錬士六段、秋元美栄三段



特別演武「銃剣道の形」
打方・糸原純二教士七段、仕方・竹下雄二教士七段

第45回全日本青年銃剣道大会

団体青年第1部

26普連A（北海道）が初優勝



団体戦青年第1部決勝、中堅戦＝26普連A・村上（左）が1普連A・福田に上胴を決める

第45回全日本青年銃剣道大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）は8月7日、日本武道館で開催された。

大会には、全国各地の予選を勝ち抜いた約1100名が出場し、団体戦青年第1部・第2部及び女子個人戦の3部門で熱戦が繰り広げられた。

団体戦青年第1部は、26普連A（北海道）が初優勝。第2部は41普連（大分）が8年ぶり2回目の優勝を果たした。女子個人戦は竹ヶ原麻衣（16普連）が初優勝に輝いた。

■団体戦（3人制）

トーナメント戦で争われ、各試合3分三本勝負、時間内に勝負がつかない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとした。

▽第1部（高校生を除く16～30歳）

ただし、自衛官は21～24歳

225チームが出場。前回優勝の40普連Aは4回戦で姿を消した。ベスト4には26普連A（北海道）、1普連A（東京）、7普連A（京都）、対馬警備隊（長崎）が揃った。準決勝は、26普連Aが対馬警備隊を、1普連Aが7普連Aを、それぞれ2―1で降

し、決勝へ駒を進めた。

決勝は、26普連Aと1普連Aが対戦。先鋒戦は26普連A・工藤太生が1普連A・郷右近光里から下胴を奪って先制。その後、郷右近は上胴を取り返す。同本数のまま終了となり、郷右近が判定勝ち。中堅戦、26普連A・村上泰啓と1普連A・福田賢二が対戦し、村上が上胴を二本奪って五分に戻す。大将戦は、26普連A・村上浩隆と1普連A・倉野翔太が対戦。上胴で先制した村上だが、倉野に下胴を返され、勝負のゆくえは判定に持ち越された。結果、村上に旗が上がり、26普連Aの初優勝が決まった。

◎優勝Ⅱ26普連A・今吉福栄監督

「ここまでこられたのは、みんなのおかげです。粘り強い戦いができたと思います」

▽第2部（高校生を除く16～20歳）

124チームが出場。決勝は41普連（大分）と21普連（秋田）の対戦。先鋒戦は41普連・福島聡一が勝利。中堅戦、41普連・伊室康輝は、21普連・伊藤雅大から上胴を奪う。後がない伊藤は猛攻をみせるが、再び伊室が上胴を決め、41普連の優勝が決まっ

た。

大将戦は両者決め手のないまま終了。判定の結果、41普連が勝利し、8年ぶり2回目の優勝を果たした。

◎優勝Ⅱ41普連・亀石修監督

「嬉しいの一言です。最高です。日々の稽古では、精神面を鍛えることを意識しました」

■女子個人戦

70名が出場。ベスト4には2連覇中の本間美香（通教隊）、竹ヶ原麻衣（16普連）、内山由美（通教隊）、

西村咲弥香（大村城南高）が勝ち上がった。

竹ヶ原と内山の対戦は、竹ヶ原が上胴を二本決めて勝ちをおさめた。

本間対西村は、高校生の西村が上胴を先取した後、本間が上胴を取り返して終了。辛くも本間が判定で勝利した。

決勝、竹ヶ原と本間の対戦。3連覇のかかる本間に対し、竹ヶ原は積極的に攻め、下胴を先取する。勢いに乗る竹ヶ原は、一本目と同じように、近間からの別れ際に下胴を決め

て、勝負あり。竹ヶ原が初優勝に輝いた。

◎優勝Ⅱ竹ヶ原麻衣選手（16普連）



「昨年初めて出場して、2回戦で負けてしまい、悔しい思いをしました。出場するからには優勝を目指しましたが、とにかく一試合、一試合を大事に戦うことを意識しました」

【大会結果】

◇団体戦

▽青年第1部Ⅱ①26普連A（北海道）②1普連A（東京）③7普連A（京都）、対馬警備隊（長崎）
▽青年第2部Ⅱ①41普連（大分）②21普連（秋田）③43普連（宮崎）、20普連（山形）

◇女子個人戦

優勝Ⅱ竹ヶ原麻衣（16普連）
2位Ⅱ本間美香（通教隊）
3位Ⅱ内山由美（通教隊）
西村咲弥香（大村城南高）



団体戦青年第2部優勝（中堅戦Ⅱ41普連・伊室（左）が21普連・伊藤から二本目の上胴を奪う



女子個人戦、決勝＝竹ヶ原（右）が本間に下胴を決める



団体戦青年第1部優勝＝26普連A（北海道）



団体戦青年第2部優勝＝41普連（大分）

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



大先輩に聞く

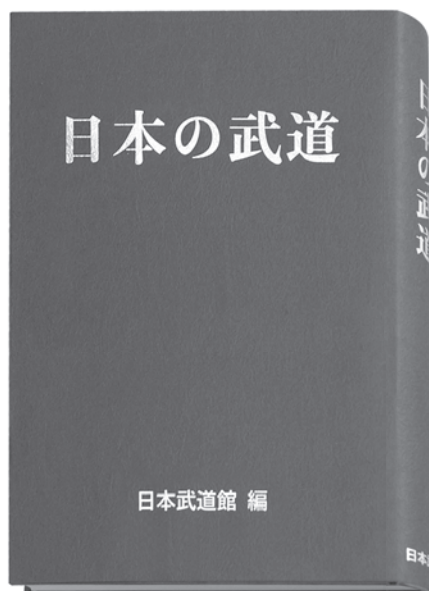
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

新潟が5年ぶり2回目の優勝



決勝・中堅戦＝新潟・松林（左）対茨城・相馬

第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（主催＝全日本剣道連盟、読売新聞社）は7月19日、日本武道館で開催された。

大会には、全国47都道府県から選出された1チーム5名の女性剣士235名が出場し、トーナメント方式によって女子団体戦日本一を争った。

大会では、新潟県が決勝で茨城県を降し、5年ぶり2回目の優勝に輝いた。

1チームは、先鋒Ⅱ高校生、次鋒Ⅱ大学生、中堅Ⅱ18～34歳（高校、大学生を除く）、副将Ⅱ35～44歳、大将Ⅱ45歳以上の年齢層別構成。

試合は、5分間の3本勝負。勝敗の決しない場合は引分けとし、チームの勝者数、総本数が同じ場合は、大将による一本勝負の代表戦を勝負の決するまで行なった。

■準決勝

新潟 1（代）―1 大分

先鋒戦は両者一本も奪えず引分けとなる。次鋒戦、新潟・五十嵐対大分・笠谷の対戦は、笠谷が面を奪い一本勝ちし、大分が先制する。中堅

戦、新潟・松林対大分・三笠は、松林が小手を奪い、一本勝ちを収め、試合を五分に戻す。副将戦、大将戦では両者一本も決めることができず、引分けとなり、勝負は代表戦に。新潟・町田対大分・古手川の対戦は、開始1分過ぎ、古手川の手元が上がったところを、町田が小手に跳び込み、勝負あり。代表戦を制した新潟が決勝に進出した。

茨城 0（代）―0 京都

先鋒戦から大将戦までお互いに一本も決まらず代表戦へ。茨城・落合対京都・橋本の対戦は、一足一刀の間合いから、先に攻めたのは橋本だが、落合の鋭い面が決まり、茨城が決勝に勝ち進んだ。



準決勝・代表戦＝茨城・落合（右）の面が決まる

■決勝

新潟 1-0 茨城

河田茜 — 長田楓薫

五十嵐路 — 船橋里乃

松林里奈 D — 相馬沙織

荒川紀子 — 鍋山夏子

町田朋子 — 落合弥生

先鋒戦は、互いに高校生らしい素早い技を繰り出したが、一本を決められずに引分けとなる。次鋒戦も両者攻めきれずに引き分ける。中堅戦、相馬は剣先を下げて攻め込み、跳び込み面、抜き胴などの技を繰り

出す。相馬の勢いに押される松林。終盤、松林は引き技を打とうとしながら場外に出てしまい反則を受ける。その直後、相馬の跳び込み面に對し、松林は胴を返し一本勝ち。

副将戦、大将戦はいずれも引分けとなる。結果、1-0で新潟が勝ち、5年ぶり2回目の優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ新潟・石川美奈子監督

「試合前、先鋒から中堅の選手には、副将、大将が勝ってくれるので、元氣よく思いつきり戦ってきなさい

と話しました。

各々の選手が落ち着いて試合に臨めたことが、勝利に繋がったと思います。よく頑張ってくれました」

◎優勝Ⅱ新潟・松林里奈選手

「このまま下がったら場外に出てしまうのは分かっていたんですが、足を怪我していたこともあったので、踏ん張ることができませんでした。気持ちでも相手に押されていたので、ここしかないと思い、胴を打ちました」

【大会結果】

▽優勝Ⅱ新潟県

▽第2位Ⅱ茨城県

▽第3位Ⅱ大分県、京都府

▽優秀選手Ⅱ河田茜（新潟）、木村歩由実（高知県）、相馬沙織（茨城）、太田洋子（北海道）、長澤友美（京都）、石原たまみ（愛知県）、古手川和子（大分）



優勝＝新潟県



第2位＝茨城県



第3位＝大分県



第3位＝京都府

全国道場 少年剣道大会

小学生の部

福岡如水館（福岡）が 22年ぶりの優勝

第49回全国道場少年剣道大会（主催Ⅱ全日本剣道道場連盟）は、7月29日・30日の両日、日本武道館で開かれた。大会には各都道府県の予選を勝ち抜いたチームが参集し、5人制の団体戦により道場日本一を競った。

初日に行われた小学生の部には535チームが参加。決勝では福岡如水館（福岡）が前回優勝の東松館道場（東京）を降して22年ぶり6回目の優勝を遂げ、自身の持つ最多優勝記録を更新した。2日目の中学生の部には416チームが集まり、九好会（熊本）が4年ぶり3回目の頂点に立った。

また、初日には瑤子女王殿下がご臨席になり、開会式でお言葉を述べられ、大会を熱心に観戦された。



（写真右）優勝Ⅱ福岡如水館（福岡）
（写真上）決勝副将戦、福岡如水館・矢野対東松館道場・尚原Ⅱ矢野（左）の引き面が決まる



大道場には、2日間とも16のコートが設けられ、試合は点取り方式のトーナメント戦により争われた。試合時間は、小学生が2分、中学生が2分30秒。引分けありの三本勝負で行われ、勝者数、総本数が同数のときは代表戦で勝敗を決した。

■小学生の部

4強には前回優勝の東松館道場（東京）、小曾根剣友会（大阪）、福岡如水館（福岡）、永山剣友会（東京）が揃った。

準決勝、東松館道場は小曾根剣友会を2-1で退けた。福岡如水館と永山剣友会の対戦は、福岡如水館の次鋒と大將が、それぞれ一本勝ちし、2-0で決勝に駒を進めた。

決勝は、福岡如水館と東松館道場が顔を合わせた。試合は中堅戦まで引分け。副将戦で福岡如水館・矢野将利が、東松館道場・尚原弘美の胴を躲して引き面を決めて一本勝ちし、福岡如水館が先制した。

大將戦、福岡如水館・小畔直は、開始早々に東松館道場・吉田優真の小手を躲し、面に返して一本。そのまま時間となり、小畔が勝利した。結果、福岡如水館が2-0で22年ぶり6回目の優勝を遂げた。

◎優勝Ⅱ福岡如水館副将・矢野将利選手
「最後に得意技の引き面を決めることが出来て、とても嬉しかったです。将来は警察官になって、剣道を続けていきたいです」

◎優勝Ⅱ福岡如水館大將・小畔直選手
「決勝の相手はがっちりしていて強そうだったけれども、思い切ってやりました。大きな大会で優勝できてよかったです」



中学生の部

九好会（熊本）が 4年ぶり3回目の日本一

（写真上）決勝先鋒戦、九好会・勝本（右）が青木剣友会・田城に面を決める
（写真左上）決勝次鋒戦、九好会・今福（右）と青木剣友会・三木の相面は今福に軍配（写真左）優勝Ⅱ九好会（熊本）

■中学生の部

ベスト4に進出したのは、3連覇中の東松館道場（東京）、九好会（熊本）、いばらき少年剣友会（茨城）青木剣友会（福岡）。

準決勝、九好会は先鋒戦で東松館道場に二本勝ち。後は全て引分けとなり、九好会が決勝に進出。青木剣友会といばらき少年剣友会の対戦は、青木剣友会が3―2で勝利した。決勝は、九好会对青木剣友会。九州勢同士の対戦となった。

先鋒戦は、九好会・勝本将暉が青木剣友会・田城徳光の手元があがつたところに小手を決めて先制。その後、勝本が小手、面の連続技で攻めると、面が決まって二本勝ちした。次鋒戦は、九好会・今福京が青木剣友会・三木強矢との相面を一瞬早く制し一本勝ちした。

中堅戦と副将戦は引分け。この時点で、九好会の勝ち星が2つ多く、優勝が確定した。大将戦は九好会・

長尾和樹が青木剣友会・妹尾舞香から面を奪って勝利。九好会が3―0で4年ぶり3回目の優勝を遂げた。

◎優勝Ⅱ九好会先鋒・勝本将暉選手「決勝の相手は遠間からの攻めが多かったもので、出端技を狙いました。他の大会でも優勝を目指します」

◎優勝Ⅱ九好会・米田敏郎監督

「爆発力もありますが、もろさもあるチームなので、普段の生活を見直し、挨拶など、当たり前のことをしっかりとやるよう指導しました。今日の剣道にも活かせると思います」



【大会結果】

□小学生の部

- ▽優勝Ⅱ福岡如水館（福岡）
- ▽準優勝Ⅱ東松館道場（東京）
- ▽三位Ⅱ小曾根剣友会（大阪）

永山剣友会（東京）

□中学生の部

▽優勝Ⅱ九好会（熊本）

▽準優勝Ⅱ青木剣友会（福岡）

▽三位Ⅱ東松館道場（東京）

いばらき少年剣友会（茨城）

日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる 剣道修錬を集大成した 本格的剣道修行論

好評発売中!



(写真提供) 剣道時代

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠 敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

剣の清流



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

（四六判・上製・564頁）



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

（四六判・上製・346頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

（四六判・上製・386頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

（四六判・上製・268頁）



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）

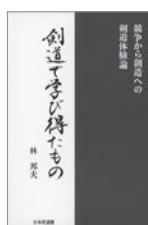


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

（四六判・上製・344頁）



剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

（四六判・上製・298頁）

石川県が王座奪還

第25回全国都道府県中学生相撲選手権大会



団体戦決勝中堅戦＝石川・岡田（奥）が千葉・手計を寄り倒す

第25回全国都道府県中学生相撲選手権大会（主催Ⅱ日本相撲連盟）は8月10日、東京・両国の国技館で行われた。大会には選手184名が参加。団体戦と個人戦（無差別級と軽量級の2階級）で争われた。

団体戦は石川県が決勝で千葉県を破って、2年ぶり6度目の優勝を遂げた。

個人戦は無差別級で手計富士紀（千葉）が決勝で岡田尚也（石川）を降して初優勝。軽量級では川副圭太（熊本）が初優勝した。

大会は3人制の団体戦予選（各3試合）から始まり、個人軽量級、個人無差別級、団体戦決勝トーナメントが行われた。

■個人戦

▼軽量級

軽量級には宮崎県を除く都道府県の代表46名が出場。トーナメント方式で覇を争った。ベスト8には今関俊介（東京）、川副圭太（熊本）、田中優汰（和歌山）、近平昌優（愛媛）、安喰洋幸（山形）、光宗泰成（高知）、山崎直哉（石川）、神圭佑（青森）が残った。

▽準々決勝

今関俊介 叩き込み○ 川副圭太

田中優汰 ○上手投げ 近平昌優

安喰洋幸 押し出し○ 光宗泰成

山崎直哉 ○上手投げ 神圭佑

川副対今関は立合でぶつかると、川副が素早く体を開いて叩き込み、今関を破った。

田中对近平は、田中が立合で右手で近平の顎を押し上げると左上手をとって、そのまま投げが決まった。

光宗対安喰は、光宗が押しの一手で一氣に押し出した。

山崎対神は、神が攻め続けたが、自らの上手投げにバランスを崩し、膝が着いて、山崎が勝ち上がった。

▽準決勝

川副圭太 ○吊り出し 田中優汰

立合、田中が川副の顎を押し上げて土俵際に寄るが、川副は堪えて回り込む。川副が左を差して寄ると、最後は脇を抱えて吊り出した。

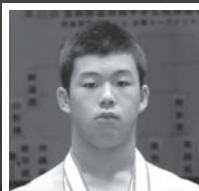
光宗泰成 ○送り出し 山崎直哉

立合で光宗は左に変化すると山崎はこれに対応できず、光宗が背後をとって、送り出した。

▽決勝

川副圭太 ○寄り切り 光宗泰成

互角の立合から川副が右から肩を押していく。川副が叩いて素早く諸差しの体勢になると、光宗が脇を絞って抵抗するのも構わずに、そのまま寄り切った。



個人戦軽量級優勝＝川副圭太選手（熊本）

●優勝Ⅱ川副圭太選手（熊本）

「優勝を狙っていました。九州大会では無差別級で優勝したので、この大会もどちらの階級に出場するか迷いました。小学1年生から相撲を始め、最初に出た大会で女子に負けて悔しかったことを覚えています」

▼無差別級

無差別級には団体予選3試合で2勝以上あげた65選手が出場した。

小学生時代にわんぱく相撲を3連覇した注目の眞闘斗（沖縄）はベスト8をかけた4回戦で手計富士紀（千葉）に寄り切られ、姿を消した。

準々決勝には大塔昂貴（高知）、

手計富士紀（千葉）、田中界人（青森）、塚原隆明（埼玉）、納谷幸之介（埼玉）、石岡弥輝也（青森）、梅木竜治郎（大分）、岡田尚也（石川）が勝ち上がった。

▽準々決勝

大塔昂貴 寄り切り○ 手計富士紀

田中界人 ○下手投げ 塚原隆明

納谷幸之介 押し出し○ 石岡弥輝也

梅木竜治郎 引き落とし○ 岡田尚也

手計対大塔は手計が立合で右上手をとって寄り切った。

田中对塚原は田中が素早く右四つになると、下手投げで塚原を降した。

石岡対納谷は石岡が引き落として納谷の体勢を崩し、押し出した。

岡田対梅木は、岡田が一気に土俵際に寄り、引き落とすと梅木は堪えきれずに土俵中央に倒れた。

▽準決勝

手計富士紀 ○寄り切り 田中界人

右四つになると、手計は身長を活かして、吊りながら寄っていく。土俵際で下手投げを打ち、田中がこれを堪えるも、着いた足は土俵外。手計が決勝へ勝ち進んだ。

石岡弥輝也 寄り倒し○ 岡田尚也

岡田は立合で低く当たると、右を差して石岡の右脇に頭を入れて寄っていく。土俵際で寄り倒して岡田の勝ち。

▽決勝

手計富士紀 ○上手投げ 岡田尚也

互角の立合から体の小さい岡田が回り込みながら手計を攻める。手計は両上手を狙うが、岡田が肘でこれ



個人戦無差別級優勝＝手計富士紀選手（千葉）



個人戦無差別級準決勝＝手計（手前）対田中



個人戦無差別級準決勝＝岡田（左）対石岡

を阻止。さらに回り込んで攻める岡田だったが、手計が左上手を掴むと同時に投げを打ち、これが見事に決まって、手計が初優勝を手にした。

●優勝Ⅱ手計富士紀選手（千葉）
「嬉しいですね。優勝を狙っていたわけではなく、一番一番かかっていうという気持ちでした。どちらかを差して相撲をとることがこの大会の目標でした。次は全中があるので、そこでも頑張ります」

■団体戦
団体戦は3人制で行われた。台風11号の影響で宮崎県チームが欠場。46チームが各3試合を行い、上位16チームが決勝トーナメントに進出した。前回優勝の高知県は順当に決勝トーナメントに進出したが、1回戦で石川県に2―1で敗れて姿を消した。勝った石川県は続く準々決勝で熊本県と対戦して、3―0でこれを退け、ベスト4進出を決めた。



個人戦無差別級決勝＝手計（左）が左上手を持った瞬間に投げを打った



団体戦準決勝第1試合中堅戦＝千葉・手計（右）が寄り切った



団体戦準決勝第2試合中堅戦＝石川・岡田（左）が試合を決めた

その他に準決勝進出を決めたのは
新潟県、千葉県、和歌山県。

▽準決勝

千葉県 2-1 新潟県

大場惇一郎 ○寄り倒し 川辺颯太

手計富士紀 ○寄り切り 中村泰輝

水間 龍 寄り切り○ 八幡莉玖

先鋒戦、互角の立合から千葉・大場がうまく相手の懐に潜り込み、一気に寄って倒して先勝。中堅戦は、立合で両上手を持った千葉・手計が寄り切って千葉が連勝。大將戦は千葉・水間の左下手投げと新潟・八幡の右上手投げの打ち合いになったが、水間の足が土俵を割り、八幡に軍配。2-1で千葉が決勝進出を決めた。

石川県 2-1 和歌山県

赤芝龍洋 ○寄り切り 井田翔太

岡田尚也 ○寄り切り 福井秀三郎

竹原 慶 足取り○ 田中優汰

先鋒戦、石川・赤芝は和歌山・井田を土俵際に追いつめるとそのまま寄り切って一勝を上げる。中堅戦、石川・岡田は立合で両脇を掬われ、体が泳ぐもこらえ、土俵を回り込ん

で体勢を立て直すとうまく懐に潜り、頭から押して寄り切った。大將戦は和歌山・田中が隙を見逃さず、足取りで一矢報いたが、2-1で石川が7年連続となる決勝の舞台へ。

▽決勝

石川県 3-0 千葉県

赤芝龍洋 ○突き落とし 大場惇一郎

岡田尚也 ○寄り倒し 手計富士紀

竹原 慶 ○押し出し 水間 龍

先鋒戦、千葉・大場は立合から低く当たって、石川・赤芝の胸に頭をつけ、左下手を持って寄るが、赤芝

は土俵際で踏ん張る。赤芝が体重を預ける大場を突き落とすと、大場は土俵中央にばったり。石川が先勝した。

中堅戦は石川・岡田対千葉・手計となり、奇しくも個人戦無差別級決勝と同じ顔合わせとなった。立合は両者頭からぶつかり、岡田が低い位置で右下手を奪う。そのまま土俵際に押し込むと、手計は何もできずに土俵を割り、石川の優勝が決まった。

大將戦は土俵際に寄られた石川・竹原が体をうまく入れ替えて、千葉・水間を押し出し。優勝に花を添



団体戦決勝先鋒戦＝石川・赤芝（右）が突き落としで先勝



優勝＝石川県（左から赤芝、岡田、竹原）

える形となった。

●優勝Ⅱ石川県・川口大輔監督

「昨年準優勝メンバーだった干場と中堅の岡田をチームの柱として考えていましたが、干場が怪我のため欠場となり、不安の中のスタートとなりました。選手には悔いを残さないようにということだけを言ってきたと思います。2人以上の働きをしてくれましたね」

●優勝Ⅱ石川県・岡田尚也選手

「団体戦の決勝は絶対に自分で決めたいと思いました。インターハイでも石川県の高校生（金沢工業高）が優勝したので、自分らも優勝したいと思っていました」

【大会結果】

■団体戦Ⅱ①石川県②千葉県③新潟県、和歌山県

■個人戦

▽無差別級Ⅱ①手計富士紀（千葉）

②岡田尚也（石川）③田中界人（青森）、石岡弥輝也（青森）

▽軽量級Ⅱ①川副圭太（熊本）②光宗泰成（高知）③田中優汰（和歌山）、山崎直哉（石川）

花岡真生が2年連続横綱に

5年生は栄龍征が、4年生は成田力道が初めての横綱獲得

第30回わんぱく相撲全国大会



小学6年生の部決勝＝花岡（右）が豪快な上手投げで優勝を決めた

第30回わんぱく相撲全国大会（主催Ⅱ日本相撲協会、東京青年会議所）は8月3日、東京・両国の国技館で開かれ、小学4・5・6年生の3部でわんぱく横綱を目指した戦いが繰り広げられた。

6年生の部では前年のわんぱく横綱・花岡真生（宇城）が2年連続のわんぱく横綱の座についた。5年生の部は栄龍征（奄美大島）が、4年生の部は成田力道（五所川原）がそれぞれ初のわんぱく横綱に輝いた。個人戦の成績をポイントに換算して競われる団体戦では宇城（熊本）が優勝した。

また、今年は30回を記念して、モンゴルで予選を開催。各部に1名が出場して会場を盛り上げた。

■6年生の部（131名出場）

昨年優勝の花岡真生（宇城）は5回戦で一昨年わんぱく横綱の池田亮（七尾）と対戦。これを上手投げで破って、準々決勝進出を決めた。その他の他にベスト8に進出したのは、小嶋秀（鳥取A）、村山豪（千葉県選抜）、白神嶺治（札幌少年団）、久保海心（まつやま）、落合駿（津）、伊

藤暉(秋田北鹿)、櫻井雄基(茨城C)。

▼準々決勝

小嶋 秀 叩き込み○ 花岡真生
村山 豪 ○寄り切り 白神嶺治
久保海心 ○掬い投げ 落合 駿
伊藤 暉 ○押し出し 櫻井雄基
花岡对小嶋は立合で小嶋の首を掴んだ花岡が叩いて勝利を収めた。

村山对白神は諸差しになった村山が寄り切つて準決勝へ。

久保対落合は久保が左掬い投げで落合を土俵にたたき付けた。

伊藤対櫻井は伊藤が管押しで櫻井を一気に押し出した。

▼準決勝

花岡真生 ○上手投げ 村山 豪

立合、低く当たった村山は素早く左四つの形になり、十分な姿勢。しかし、攻めあぐね、花岡に右上手を許す。花岡は吊り上げるように寄っていくと土俵際で堪える村山を右上手投げで豪快に降した。

久保海心 引っ掛け○ 伊藤 暉

久保が立合で鋭く当たると、伊藤は力なく土俵際に後退。しかし、久保が決めにいったところを伊藤が引っ掛けると久保の体が土俵外に飛び出し、伊藤が決勝進出を決めた。

▼決勝

花岡真生 ○上手投げ 伊藤 暉

立合、伊藤が下から当たって、花岡が胸で受ける形。伊藤が素早く左四つの体勢となるが、花岡も右上手を取って寄っていくと、土俵際で豪快に上手投げ。伊藤が背中から土俵に落ちて、花岡の2年連続わんぱく横綱が決定した。

●優勝Ⅱ花岡真生選手(宇城)

「嬉しいという言葉しか出てきません。今日はいいい形になって思い通りの相撲ができました。表彰式では貴乃花親方に表彰していただき、嬉しくて涙目になりました。」

去年優勝していたことで、早い段階で負けることができないというプレッシャーは感じていました。

途中で4年生横綱の池田君との試合は意識しました。自分は4年生の頃は小さくて、毎日ご飯をどんぶり4杯食べて、今の体になりました。冬の大会でも頑張ります」

■5年生の部

昨年のわんぱく横綱の篠田裕之(羽昨)は初戦の2回戦で藤田一翔(座間)と対戦し、下手投げで敗れる波乱。勝った藤田は準々決勝で石岡樹(まつやま)に敗れた。他に準



小学6年生の部準決勝＝花岡(手前)対村山



小学6年生の部準決勝＝伊藤(左)対久保



昨年度5年生横綱・花岡真生選手による土俵入り



昨年度4年生横綱・篠田裕之選手による土俵入り

決勝に進出したのは、花房海^{はなふみかい}（東京選抜）、栄龍征（奄美大島）、落合哲也（鳥取A）の3名。

▼準決勝

花房 海 寄り切り○ 栄 龍征

花房が立合、右に変化。栄は動じずに落ち着いて左を差す。栄は右で前禪^{まへま}を掴むと、間髪を入れずに寄り、花房を降した。

▼決勝

栄 龍征 ○寄り倒し 落合哲也

栄は立合から素早く左四つの体勢になる。落合も左下手を掴んで、下手投げ、小手投げと打つが栄は動じ

落合哲也 ○押し出し 石岡 樹

落合は石岡に顔を押されるもかわす諸差しの体勢で前に出続け、最後は押し出して決勝進出を決めた。

ない。栄は落合の攻撃の間隙をついて、吊るように寄っていくと、土俵際で懸命の下手投げを打つ落合をそのまま寄り倒して、嬉しいわんぱく横綱を手にした。

●優勝Ⅱ栄龍征選手（奄美大島）

「ばあちゃんが応援に来てくれて、『思い切りやってこい』と言われたので、何も考えずに思い通りの相撲が取れました。全国大会で優勝した

のは初めてです。いとも応援してくれていたの、絶対に優勝したいと思っていました」

■4年生の部

昨冬の全日本小学生相撲優勝大会において、小学3年生ながら小学4年生以下の部において準優勝した成田力道（五所川原）は、危なげない相撲で準決勝進出。準決勝に進出したのは、他にバトホヤグ・バヤルボルド（モンゴル）、菅原悠翔^{すがはろはるか}（駿河湾）、内田京汰^{うちだきょうた}（富士山）。

▼準決勝

バヤルボルド 下手捻り○ 菅原悠翔

右四つに組み合う両者。土俵中央で互角の勝負を演じるが、体格に勝る菅原が徐々に寄る。土俵際、菅原の下手捻りが決まって、決勝進出を決めた。

成田力道 ○突き出し 内田京汰

成田は仕切り線から離れて構えると、立合で勢いよくぶつかり、内田を押し込んでいく。成田は止まることなく突き続け、堪えきれなくなった内田は土俵を割った。



小学5年生の部決勝＝栄（奥）対落合



小学5年生の部準決勝＝栄（奥）対花房



小学5年生の部準決勝＝落合（左）対石岡

▼決勝

菅原悠翔

叩き込み○ 成田力道

成田は低く当たってきた菅原の肩を押していく。思わず後退した菅原が逆襲に転じようとした瞬間、成田が絶妙な叩きで菅原は土俵にばったり。成田が横綱の座を射止めた。

●優勝Ⅱ成田力道選手（五所川原）

「やっとわんぱく横綱になって嬉し
いです。自分の相撲は押し相撲です
が、今日は自分の相撲が取れまし
た。緊張していませんでしたが、初
戦で相手にまわしを取られて危な
かったです。来年も優勝したいです」



小学4年生の部決勝＝成田（右）が叩き込みで菅原を降した

心技体人を育てる総合誌

月刊 武道



小学4年生の部準決勝＝成田(左)対内田



小学4年生の部準決勝＝菅原(上)対バトホヤグ

【大会結果】

■小学6年生の部

- ▽横綱Ⅱ花岡真生（宇城）
- ▽大関Ⅱ伊藤 暉（秋田北鹿）
- ▽関脇Ⅱ村山 豪（千葉県選抜）
- 久保海心（まつやま）

■小学5年生の部

- ▽横綱Ⅱ栄 龍征（奄美大島）
- ▽大関Ⅱ落合哲也（鳥取A）
- ▽関脇Ⅱ花房 海（東京選抜）
- 石岡 樹（まつやま）

■小学4年生の部

- ▽横綱Ⅱ成田力道（五所川原）
- ▽大関Ⅱ菅原悠翔（駿河湾）
- ▽関脇Ⅱバトホヤグ・バヤルボル
ド（モンゴル）
- 内田京汰（富士山）



団体優勝＝宇城

好評発売中

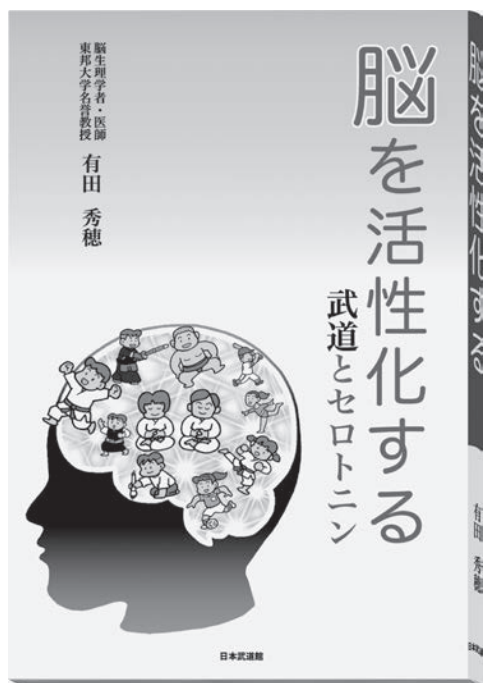
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン
ストレスとしごき
空海はセロトニン活性の達人
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
不動明王と心の三原色
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成
「茶の湯」とセロトニンの生活
「自然に体が動いた」を脳科学で解く
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
「武道の礼法」は社会脳を育む
相撲の「四股」は品性を育む
書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心
日本の祭にはセロトニンがたっぷり
スキップとオキシトシン
空手の稽古は坐禅修行に通じる
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
試合における最適な覚醒状態
サイエンスは「気」をどこまで解明したか
仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光
東邦大学名誉教授 有田 秀穂

：他

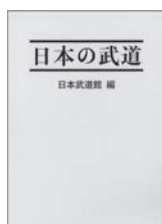
編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）

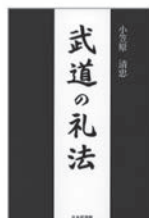


武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



<増補版> 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

（四六判・上製・248頁）

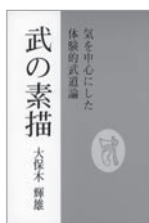


武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

特集

平成26年度

全日本少年少女武道錬成大会

暑さにも 自分にも 勝った錬成の夏

平成26年度全日本少年少女武道錬成大会は、7月20日の合気道を皮切りに、弓道（21日）、剣道（26日・27日）、空手道（8月2日）、柔道（3日）、銃剣道（6日）、少林寺拳法（9日）、なぎなた（10日）の8種目が9日間にわたって、日本武道館で行われた。

大会には、全国から延べ1万6千人の少年少女が集まった。猛暑にも負けず、熱気溢れる（あふ）る大道場で基本錬成・試合錬成に元気いっぱい取り組み、日頃の稽古（けいこ）の成果を存分に発揮した。





合気道

開会式では、奥田幹生日本武道館常任理事と植芝守央合気会理事長が挨拶をした。

基本錬成では全員で舟漕ぎ運動を行った後、第1部（小1・2）、第2部（小3・4）、第3部（小5・6）、第4部（中1～中3）に分かれての稽古錬成が行われた。続いて演武錬成に移り、大道場内の5つの演武場で、各団体ごと2分間の演武を披露。和気諳々^{わきあやう}の雰囲気の中、参加者は互いの技を確認し合った。

最後に、植芝充央本部道場長代行の総合演武が行われた。





総合演武（植芝充央本部道場長代行）



ちかいのことば
高橋綾太・高梨 悠
(八千代市合気道連盟)



植芝守央
合気会理事長



奥田幹生
日本武道館常任理事





弓道

開会式では、松永光日本武道館会長と中塚祥一郎全日本弓道連盟副会長が挨拶に立ち、選手を激励した。

基本錬成では準備体操の後、全員で徒手八節を行って動きを確認し、教士による特別演武を見学した。試合錬成は1チーム3名の団体戦が男子の部・女子の部に分かれて行われた。各人4射で6人中以上のチームが予選を通過し、決勝は的中数で争われた。選手は真剣な表情で弓を引き、会場の外では結果に嬉し涙や悔し涙を流す姿も見られた。



ちかいのことば
船川滉太
(鹿児島・甲南中学校)



中塚祥一郎
全日本弓道連盟副会長



松永 光
日本武道館会長



特別演武(村川平治教士八段、桑田秀子教士八段、土佐正明教士八段、齋藤往子教士七段)





剣道

開会式では、初日は島村宜伸日本武道館常任理事と松永政美全日本剣道連盟副会長が、2日目は松永光日本武道館会長と松永政美副会長が挨拶をした。

開会式の後、出場選手全員が大道場いっばいに広がって準備運動と素振りを行った。

試合は5人制の団体戦で基本判定試合と一本勝負を行い、ベスト8からは三本勝負の試合で争われた。各試合会場では、子どもたちが日頃の稽古で鍛えた力を存分に発揮し、正々堂々とした試合が展開された。



剣道 7月26日・27日 714団体 4,905名参加



ちかいのこぼ (27日)
平林愛華
(山梨県・都留市剣道連盟)



ちかいのこぼ (26日)
山崎いろは
(長崎県・大村市剣道協会)



松永政美
全日本剣道連盟副会長



島村宜伸
日本武道館常任理事



公開演武「木刀による剣道基本技稽古法」
(東京都・調布市剣道連盟)





空手道

開会式では、白井日出男日本武道館理事長、笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶を行った。

基本錬成では、前田利明七段の号令に合わせ、基本の突き、蹴りを元氣よく繰り返し続けた。試合錬成は、1チーム3人制で、小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、中学生の部の4部門で実施した。まず形競技（団体戦）を行い、勝ち残った16チームが決勝トーナメントの組手競技へ進出した。大道場では、気合いと声援が響く中、息が合った団体形や、果敢に攻め合う組手が数多くみられた。

空手道 8月2日 147団体1,979名参加



模範演武・団体形「ウンスー」。左から相馬昂翔
参段、杉野拓海参段、在本幸司参段



ちかいのことば
榎本航大（熊本県・大真館〔右端〕）



笹川 堯
全日本空手道連盟会長





柔道

開会式では、松永光日本武道館会長と宇野博昌全日本柔道連盟事務局長が挨拶。文部科学大臣祝辞を坪田知広文部科学省スポーツ・青少年局競技スポーツ課長が代読した。

基本錬成では、井上康生六段の指揮で、強化選手4名による模範演武と技の解説が行われた。続いて、指導者とのかかり稽古では、模範演武者も元立ちとなり、活気溢れる稽古となった。

試合錬成は、低学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）に分かれて5人制の団体戦を行い、会場は、外の暑さにも負けない熱戦が展開された。

柔道 8月3日 279団体 2,972名参加



模範演武（指揮者＝井上康生、演武者＝王子谷剛志、
高上智史、大住有加、五味奈津実）



ちかいのことば
休徳泰佑
（大阪府・明武館田邊道場）



宇野博昌
全日本柔道連盟事務局長





はじめに都道府県ごとになって参加者が入場行進。大道場を一周して整列した。開会式では、臼井日出男日本武道館理事長が挨拶。酒井健全日本銃剣道連盟会長、小池百合子東京都銃剣道連盟会長が参加者を激励した。

続いて、特別演武「銃剣道基本・応用技」が披露され、その後、参加者は小4までと小5以上の2つのグループに分かれて、銃剣道、短剣道の合同錬成に汗を流した。試合錬成では銃剣道、短剣道の団体戦と個人戦が行われ、参加者は日頃の稽古の成果を存分に発揮した。

銃剣道



ちかいのことば
松浦豪士
(春光銃剣道クラブ)



小池百合子
東京都銃剣道連盟会長



酒井 健
全日本銃剣道連盟会長



臼井日出男
日本武道館理事長



特別演武 銃剣道基本・応用技
(鈴木庸浩教士七段・山中健一錬士六段)





少林寺拳法

今年「かがやく、わたしも主役 あなたも主役」をテーマに開催。鎮魂行に始まり、開会式では高村正彦日本武道館常任理事と宗由貴少林寺拳法グループ総裁が挨拶に立った。全員で突きや蹴りなどの基本を確認する基本錬成を行い、続く演武錬成では段・級別に分かれて、演武を競い合った。演武錬成が終わると、稽古錬成に移った。再び基本の動きを確認した後、初めて出会う拳士と友達になるゲームが行われた。閉会式では新井庸弘少林寺拳法連盟会長が挨拶して大会は終了した。





鎮魂行主座
鈴木明正
(南紀熊野スポーツ少年団)



宗 由貴
少林寺拳法グループ総裁



高村正彦
日本武道館常任理事



模範演武 (富士見丘高等学校少林寺拳法部)





なぎなた

錬成大会はなぎなたで最終日を迎えた。開会式では、松永光日本武道館会長、佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が挨拶に立った。

基本錬成では、参加者が大道場に広がり、基本の素振り、体捌き（はき）を今浦千信教士の指揮・号令に合わせて精一杯行なった。続く競技では、演技競技（小1～中3）が各部ごとに、試合競技（小3～中3）が学年ごとに行われた。演技競技では、ペアになって基本の打ち・受け・捌きを演武。試合競技では、防具を身にまとい、少年少女らしい元氣あふれる技を披露した。参加者たちは日頃の成果を存分に発揮し、錬成大会最終日を締めくくった。

なぎなた 8月10日 140団体1,052名参加



ちかいのことば
堀 奏恵
(福井県・武陵館中嶋道場)



佐藤浩市
全日本なぎなた連盟会長



平成26年度

全日本少年少女武道錬成大会 受賞一覧

平成26年7月20日から8月10日までの9日間にわたって、日本武道館で行われた平成26年度全日本少年少女武道錬成大会の受賞一覧を、掲載いたします。

深谷玄太・本橋由吉・平井寿々乃・濱野風・新関春日（合気道月窓寺道場）、宮城悠久・星野元春（千住合気会）
【神奈川県】 樋口和弥（合気道自灯館道場）、水尾公亮・水尾友軌（青葉塾道場）、新井崇之・蒲谷夏音（合気道春水道場）、小野寺彩里（桜台合気道クラブ）、高橋由衣・佐山諒多（春陽会）、中島楓（葉山町合気会）、村上琢磨（南林間カルチャーセンター）、山崎慧悟（横浜南合気会）、鳴海勝大・田中周平（鶴岡八幡宮研修道場合気道科）、大里航輝・佐山友里（城下町合気道（小田原道場））、山口姫花・山口彪冴（無門館）、新井あやめ・小山明圭里（合気道相模和道会）、後藤茉友（合気道高城道場 合気道わんぱく道場）、鈴木蒼（綾瀬市合気会）、住田莞樹・濱口海・狩野隼之介・大沼夢泉・石河拓也・貞島未歩・千葉大和（寒川合気会）、有田久美・山田真友紀・本杉幹記・山口大貴（国立印刷局合気道部）、原朋花・三本清香（秦野武産合気会）、菊地親音（相模原カルチャーセンター）、松本美優・渡邊大河（合気道相模誠心会田名道場）

【新潟県】 石原大雅・細川元（新潟合気会新潟みなと道場）

【長野県】 滝沢亮弥・大谷聖菜（合気道武石道場）

【山梨県】 藤橋歩美（浅川教室）、荻野隆嗣・鈴木将（甲府ジュニア合気道）

【静岡県】 石黒汐莉（長泉合気会）、村木勇仁（裾野合気会）、高橋悠太・三枝理乃・小町優生・石田怜那・佐野聖奈・三枝大輝・満尾友希乃・石田壮・三枝怜平・昌山虎太郎・満尾元哉・吉岡栞・三枝和奏・満尾梨乃（伊豆至誠会）、早川光夏・石塚優（合気道石芯塾童夢の会）

【岐阜県】 竹中嵩・竹中直樹（合気道岐阜一元会）

【滋賀県】 中野雄斗（近江合気館瀬田道場）

【三重県】 別府奏太・黒田歩・岡本壮真（鈴鹿合気会倉武塾）

【京都府】 田中耀祐・森山遥介・金澤にい奈（合気道多田塾入江道場）

【大阪府】 藤井世名・中平陽大・小林悠人・楠本壮馬（合気道正勝会）、近藤彩華・江口友佑・江口陽・田中朱音・田中杏希・赤坂百音（合気道泉州武育会）

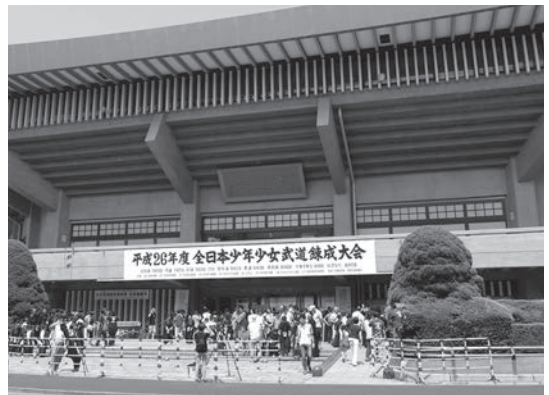
【奈良県】 石田響喜・中川愛翔・鹿島佑斗・北里昂斗・亀井一樹・小野うらら・山下奈夏・永尾浩貴（合気道西大和会）、岩本佳乃・松井瞳英・吉岡優百・和家慧人（合気道三錬会）

【岡山県】 藤本実瑤子（倉敷天領塾）、弦本夏実・武本芽依・坂本美優・川西彩友（倉敷市立西中学校合気道部）

【広島県】 池田千夏（合気道北平塾ひとみ幼稚園長束道場）

【香川県】 古川将也・石川壮太・森口皓介・矢野乃亜（高松合気会）、梶野天歌・高井花菜美（合気道立志館）

【愛媛県】 大河内三郎・壺内未来・壺内海緒（今治合気会今治道場）



合気道 ―＜努力賞＞―

【青森県】池野晴・工藤ゆず子（青森道場）
【岩手県】三浦大空（多田塾奥州道場）
【宮城県】伏見悠希（石巻総合体育館道場）
【福島県】及川大地・溝井りり子・鈴木治憲（合気道須賀川道場）
【栃木県】小暮主馬・カラヴェ空・安西涼哉・小暮美月（小山合気会）
【茨城県】浅野純（つくば牛久合気道友会）、池田ひな・モハバティ花奈（江戸崎合気会）、根田直子（ヨークカルチャーセンター日立ジュニア合気道）、羽川音利也（取手市合気道スポーツ少年団）、宮内彩衣（つくば合気道会）、藤倉綾乃・山口モニカ（水戸市合気道スポーツ少年団）、稲田佳純・熱田賢一・佐藤円香・高松結・宮田珠里（ひたちなか市合気道少年団）、長谷川嵩太・町田亮祐・篠崎颯・鈴木駿斗・井上桜輔（岩間合気道スポーツ少年団）、池田純輝（東海合気道少年団）、水野谷千紘（常陸大宮合気道少年団）
【埼玉県】高橋徳馬・坂田速斗・酒向優至・原嶋諒・豊島由子・渋谷知夏（合気道志優館）、井上智博（合気道浦和尾丈道場）、西本祐太郎（A & P 合気道石垣道場）、杉浦由太郎（大成合気道会）、岡本華凜（志陽館）、前田隼也斗・武田弘也（蔵合気道会）、山田陽太（ビタース合気道クラブ）、足立海斗・勝見友香・赤石夕貴（合気道大宮道場）、瀬戸口玄樹・中島由喜・増田碧斗・植田茉瑚（浦和合気会）、井部響介（A&P 合気道大関道場）、内野佑太・立花姫菜（合気道越谷道場）、水越琴乃（蓮田合気会）、瀬間まどか（合気道川島町同好会）、稲生七海・秋田菜々子（合気道川越道場）、長屋拓斗（日高市合気道同好会）、茂木眸・川口大知・新井佑麻・唯昭太（合気道研心会）、我妻昂・鶴巻淳平（狭山市合気道教室）、吾妻叡・澁谷美瑞（合気道修練道場自然館）、杉浦千波（合気道和光道場）、石田康稀・澤口木香・澤口暦人（志木合気会）、田村唯花（合気道神明塾）、星英輝・星佳輝（新所沢合気道同好会）、小林紗唯乃・井上華子・一瀬友（白岡合気会）、篠原みづき・手塚穂里・佐藤輝拓（合気道桶川愛気会）、金山三四朗（合気道健武館）
【千葉県】藤原天希・高橋和暉・伊藤隆吾・多田夏実・中別府恵里香（千葉市立椿森中学校合気道部）、五十嵐華・杉本茉莉（千葉市都合気道スポーツ少年団）、石井直歩・板垣泉水（合気道花見川道場）、馬場虎汰朗・上條億斗・穴倉成一・田中美月・高橋愛花（合気道弘龍會明心館道場）、石橋明音（千葉市武道館合気道スポーツ少年団）、二瓶隼太郎・田中陽菜（流山合気道同好会）、大嶋亮輝・岡田健太郎（我孫子市合気道スポーツ少年団）、平塚智希・稲垣小雪・山口佳那子（柏合気会少年部）、菊池健輔・安田友（船橋合気会）、勝田柊平・松戸大和・橘優輝・大野聖貢・早乙女諒介・岡田舜・大瀬多聞・神原命（朋清会白井道場）、木内柁宏・橋本倅太（合気道れんしん会）、高橋綾太

（八千代市合気道連盟）、吉田祐生（富里合気道友会）、角川裕太・榊洋努（銚子合気道会）、松井友希・糸川里紗（合気道松心館）、遠藤真（安房館山道場）、片岡愛望（八街合気道友会）、川村瑠華（合気道誠氣会）、外所功太郎（高根台カルチャーセンタージュニア合気道）、中村琉理・菊地穂乃香（稲毛スポーツ少年団）
【東京都】柴田玲来・矢子紫織・坪井瑞希・岡本諒太（中央区合気会）、堀晃大・山田真大（合気道宇宙の会）、天野雅仁・井上京・櫻井七海（武蔵中学校合気道部）、廣田誠・山本尚隆・家田大地・飯島あかね・柳翔子・高橋俊亮（荒川合気会）、川崎渥生・石崎慎二・川崎涼生（合気道順風会）、市川智久（合気道石田塾）、上野大翔（足立合気会）、柳田佳那・阿部姫奈（葛飾合気会）、島田優希乃・加藤孝太（合気道土井道場）、元嶋千恵（城東誠和会）、小川奈々・黒川光理（合気道両国魂友会）、梅原陽香（鐘ヶ淵合気道クラブ）、西村真子・岩井彩映子・小沢紀人（八広合気道クラブ）、前谷朱里・大森雄太（新小岩合気会）、村田瑠華（江戸川環七合気道クラブ）、比嘉聖虎・宇田川望（合気道向日葵道場）、向井田雅之（よみうりカルチャー恵比寿）、鈴木梨乃亜・荒屋敷元気（合気道進藤道場）、島田恵里花（東急セミナー BE 雪が谷）、阿部立幹（東急セミナー BE 青葉台）、高久凜（大森第三中学校合気道会）、西山拓真（西馬込合気道会）、須藤祐哉・塚田光（大田区合気道会）、萩原直弥（八起会）、小田絢之（渋谷区合気道同好会）、小倉千佳（守清館）、砂子亜文・岡本紀義・小俣茉莉那・高橋幸太郎（合気道れいめい会）、金谷与・竹山こころ・北見珠子・永美弘貴（祖師谷合気会）、ポエッシュ巧・石島寛大・石島慶大・江川茜音・池水大翔（朋清会）、中島翼（合気道自由が丘道場）、黒澤珠月・熊木陽菜・宮坂夏未（中野区合気道会）、早淵司（明清会）、氣賀澤美羽・小柳香・鈴木沙羅・秦真理亜（板橋区合気道連盟）、木嶋曜士鷹（合気道心和会）、菅原正人・多武保玲美（合気道練馬総合体育館道場）、須藤蒼太・海雲美風・山田心太郎・大杉和瑞・小川幸介・宮坂亜実・平井爽乃・保坂駿介・大杉律葉・井本晶子（合気道新川塾）、村崎星也・浅野悠那・落合勇一・森望亜（仲池合気道同好会）、高野真匡・川畑光（多摩川合気道会）、早矢仕晶子・林裕斗（調布合気道会）、熊代風人（東村山市合気道会）、出口真帆（合気道「倫」）、高木瑛士・高木駿你（立川市合気道会）、渡辺歩輝（東大和市合気道会）、河北泉彦（合気道三澤塾）、鷹の台合気道同友会（吉田悠真）、實生樹（新宿スポーツセンター合気道教室）、西村緑・柳田徹哉（公益財団法人合気会本部道場少年部）、吉澤美里（日本武道館武道学園）、稲川陽紀・稲川凌汰・佐々木英慈（東村山シダックスカルチャーセンター）、土屋璃織・佐藤潤（あおぞら合気道）、鈴木隆弘・新関祝・平井李々菜・雑賀紗友・柴田大樹・新関礼・鈴木由莉子・東條雅月・黒田堯晴・

弓 道

7月21日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
豊田市立松平中学校（愛知） 藤岡第一中学校 A（栃木）	桜修館中等教育学校 B（東京） 常陸太田市立太田中学校 A（茨城）	雁が音中学校 A（愛知） 慶應義塾湘南藤沢中等部 B（神奈川県） 慶應義塾中等部 A（東京） 愛知県刈谷市立朝日中学校 A（愛知）	雁が音中学校 A（愛知） 藤岡第一中学校 A（栃木）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上） 26 チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
松戸市立第六中学校 A（千葉） 清真学園高等学校・中学校 A（茨城）	松戸市立栗ヶ沢中学校 A（千葉） 旭中学校 B（神奈川県）	蒲郡中学校（愛知） 清原中学校 B（栃木） 富士松中学校 A（愛知） 太平中学校 C（栃木）	松戸市立第六中学校 B（千葉） 日光市立今市中学校 A（栃木）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上） 23 チーム		

剣 道

7月26日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	東松館道場 A（東京都）	武修館（静岡県）	朝日道場 A（茨城県）	習志野武道館（千葉県）
第2ブロック	下館士徳会 A（茨城県）	国分寺剣友会 A（東京都）	仏生山スポーツ少年団剣友会（香川県）	長野剣道スポーツ少年団 A（長野県）
第3ブロック	福住剣友会（東京都）	大阪剣武館（大阪府）	斉信館剣友会（神奈川県）	春日部剣道会（埼玉県）
第4ブロック	大津少年剣道クラブ A（熊本県）	総和剣道クラブ（茨城県）	長久保剣友会（埼玉県）	大村市剣道協会（長崎県）
第5ブロック	上の台剣友会（千葉県）	越谷剣道クラブ A（埼玉県）	いばらき少年剣友会 A（茨城県）	大山青少年剣友会（東京都）
第6ブロック	豊中小曽根剣友会（大阪府）	蔵の街剣志会 A（栃木県）	泉北宮山台剣友会（大阪府）	宜野湾地区スポーツ少年団（沖縄県）
第7ブロック	久里浜剣友会（神奈川県）	埼玉越生錬成会（埼玉県）	十河剣道スポーツ少年団（香川県）	輝誠館（大阪府）
第8ブロック	東松館道場 B（東京都）	大道塾（沖縄県）	龍成館（熊本県）	上郡剣道連盟 A（兵庫県）

7月27日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	生駒剣友会 A（奈良県）	豊中寺内剣友会（大阪府）	市原 尚武館 A（千葉県）	解脱錬心館 A（埼玉県）
第2ブロック	山梨健心館 A（山梨県）	菖蒲剣心会（埼玉県）	桜風館（大阪府）	川棚少年剣友会 A（長崎県）
第3ブロック	清野育成会剣道クラブ（長野県）	広島西風道場（広島県）	鳩ヶ谷剣友会 A（埼玉県）	仁智館道場（新潟県）
第4ブロック	尚道館 A（静岡県）	永山剣友会（東京都）	誠道会北部道場（静岡県）	新宮剣志館（兵庫県）
第5ブロック	真備東剣道スポーツ少年団（岡山県）	雄信館内山道場 A（秋田県）	弁天剣友会少年剣道部（大阪府）	能勢武勇館（兵庫県）
第6ブロック	養徳館（岡山県）	大和青少年文化研修道場（奈良県）	東陶器春風館（大阪府）	新化館（石川県）
第7ブロック	新小岩剣友会 A（東京都）	野市町スポーツ少年団剣道部（高知県）	金杉台剣友会 A（千葉県）	小山田源流館（大阪府）
第8ブロック	武徳館剣道教室（愛知県）	鎌田剣道スポーツ少年団（福島県）	田島剣友会（神奈川県）	聖和剣道友の会 A（大阪府）

空手道

8月2日開催

小学1・2年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京都) 全日本空手道一友会 B (東京都)	拳勝館西湘支部 (神奈川県) 道場会 清友館 (埼玉県) 拳勝館鎌倉支部 B (神奈川県) 清原空手道スポーツクラブ (栃木県) 空手道拳志会 A (東京都) 日本空手道泊親会川崎 C (神奈川県) 正統唐手成徳会 (東京都) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 E (神奈川県)
優良賞	
拳勝館六会支部 A (神奈川県) 鴻志会養正館 A (静岡県)	
敢闘賞	
空手道一心塾 (千葉県) 空手道拳志会 C (東京都) 葉山町空手道協会 A (神奈川県) NPO 日本教育空手協会 A (宮城県)	

小学3・4年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京都) 全日本空手道一友会 B (東京都)	教空会空手道場 B (東京都) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 E (神奈川県) 泊親会正真館 C (静岡県) 鴻志会養正館 C (静岡県) 鴻志会養正館 A (静岡県) 日本空手道泊親会川崎 A (神奈川県) 拳勝館六会支部 A (神奈川県) 日本空手道黎明会大和支部 (神奈川県)
優良賞	
剛柔会相模館 (神奈川県) 一期倶楽部 A (栃木県)	
敢闘賞	
葉山町空手道協会 (神奈川県) 空手道拳志会 B (東京都) 結城市空手道連盟 A (茨城県) 正武館空手道場 A (東京都)	

小学5・6年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 C (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	拳勝館六会支部 B (神奈川県) 鴻志会養正館 A (静岡県) 日本空手道黎明会大和支部 A (神奈川県) 宮代空手スポーツ少年団 A (埼玉県) 正武館空手道場 B (東京都) 日本空手道翔成会 (神奈川県) 清原空手道スポーツクラブ (栃木県) 全日本空手道一友会 B (東京都)
優良賞	
全日本空手道連盟剛柔会誠明館 C (神奈川県) 正武館空手道場 D (東京都)	
敢闘賞	
明桜塾 B (千葉県) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B (神奈川県) 空手道拳志会 C (東京都) 拳成会館 B (愛知県)	

中学生の部

優秀賞	努力賞
正武館空手道場 A (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	NPO 法人野辺地空手道会 A (青森県) 拳心会 A (東京都) 英空会 (神奈川県) 憲武館八尾 (大阪府) 明桜塾 A (千葉県) 五誓会東灘 (兵庫県) 正武館空手道場 C (東京都) 拳勝館六会支部 (神奈川県)
優良賞	
佐世保尚武館 (長崎県) 空手道拳志会 (東京都)	
敢闘賞	
全日本空手道連盟剛柔会誠明館 C (神奈川県) 正武館空手道場 B (東京都) 日本空手道明光館 (神奈川県) 原市場松濤会 A (埼玉県)	

柔道

8月3日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第1ブロック (高学年)	白根柔道連盟鳳雛塾 (新潟県)	五所川原柔道少年団 (青森県)	松阪市武道館柔道教室 (三重県) 下志津柔道クラブ (千葉県)
第2ブロック (高学年)	明心館関本道場 (千葉県)	剛柔館藤田道場 (青森県)	小川道場 (神奈川県) 大仁柔道会 (静岡県)
第3ブロック (高学年)	朝飛道場 (神奈川県)	土浦市体育協会柔道部 (茨城県)	舟川柔道塾 (埼玉県) 伊豆長岡柔道会 (静岡県)
第4ブロック (高学年)	東福岡柔道教室 (福岡県)	東村山柔道クラブ (東京都)	山武成柔会 (千葉県) 古賀塾 (神奈川県)
第5ブロック (低学年)	二見少年柔道クラブ (兵庫県)	春日柔道クラブ (東京都)	三津浜柔道会 (愛媛県) かずさ柔道スポーツ少年団 (NPO 法人かずさ柔道塾) (千葉県)
第6ブロック (低学年)	古賀塾 (神奈川県)	森義塾柔道教室 (熊本県)	力善柔道クラブ (茨城県) 小川道場 (神奈川県)
第7ブロック (低学年)	明心館関本道場 (千葉県)	大石道場 (愛知県)	大多喜町少年柔道クラブ (千葉県) 広畑柔道教室 (兵庫県)
第8ブロック (低学年)	朝飛道場 (神奈川県)	雄武館山中道場 (秋田県)	吉田道場練馬柔道クラブ (東京都) 怒濤館石津道場 (奈良県)

演技競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年	梶井千尋・綿野紫月 (奈良市なぎなた連盟)	山本衣織・佐野友哉 (藤井寺市剣道薙刀協会)	小井土心和・山田恵生 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	木村真唯・二方琉綺 (横須賀なぎなた協会)
小学3・4年A	洲之内桃花・神山美完 (北条なぎなたスポーツ少年団)	長嶋春優・梅津瞳子 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	石塚千晶・中嶋和奏 (奈良市なぎなた連盟)	吉原なごみ・西口優華 (公益財団法人修武館)
小学3・4年B	宮崎真由香・鯨岡英恵 (大田区なぎなた連盟)	阿比留月乃・坂上祐輝 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	高村瑠夏・滝口 和 (富士吉田なぎなたクラブ)	京谷一子・塚田光優 (福井なぎなたクラブ)
小学5・6年A	泉水ほのか・宮城昭奈 (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	大竹優奈・吉田天音 (会津なぎなたスポーツ少年団)	菰 乃菜・小針輝人 (奈良市なぎなた連盟)	小嶋 奏・今井ここの (愛知武道館クラブ)
小学5・6年B	田村花香・鈴木萌々花 (榴岡なぎなた教室)	櫻庭 彩・長嶋姫那 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	新川珠羽・奥山瑛梨南 (西原なぎなたクラブ)	内田雅季・下川紗奈 (福井なぎなたクラブ)
小学5・6年C	松田もえ・杉村明日香 (奈良市なぎなた連盟)	榎本遥斗・日鷹大智 (奈良市なぎなた連盟)	牧野 叶・北川 幸 (福井なぎなたクラブ)	寺口佳菜子・寒川慎也 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
中学A	仲原菜月・細江美有果 (弥富市なぎなた連盟)	山口乃愛・赤羽愛莉 (松本市田川なぎなたスポーツ少年団)	長谷川晴歌・藤田らら (会津なぎなたスポーツ少年団)	近藤花菜・鈴木悠理愛 (榴岡なぎなた教室)
中学B	倉田真衣・菊地夏々子 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	中村瑠花・真野未来音 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	新屋敷悠莉・清水梨乃 (七尾市立七尾東部中学校)	野沢桜子・山森彩也香 (鯖江なぎなたクラブ)
中学C	阿部 渚・鈴木媛女 (横須賀なぎなた協会)	落合凜星・伊東歩花 (福生クラブ)	廣瀬くるみ・三富まい (神奈川大学附属中学校)	高澤永愛・竹田智咲 (松本市田川なぎなたスポーツ少年団)
中学D	野尻佑希・鈴木嶺花 (鯖江なぎなたクラブ)	星 明里・笠間はな (会津なぎなたスポーツ少年団)	望月満裕・小池乃永留 (伊斐市立玉幡中学校なぎなた部)	小山和葉・佐藤安希 (山形市第三中学校)
中学E	森 香澄・秋山咲絵 (琴平中学校)	木原里奈子・八田梨沙 (鯖江なぎなたクラブ)	古川あさひ・佐藤佳衣 (会津なぎなたスポーツ少年団)	安達あさひ・向川菜彩 (南砺市立福野中学校なぎなた部)
中学F	金野 碧・永山結衣 (江東区なぎなた連盟)	田邊緋織・齋藤俊慧 (会津なぎなたスポーツ少年団)	坂上晴紀・浪江紗希 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	鮎川 緑・浅井美咲 (都立富士高等学校附属中学校)
中学G	藤城瑛人・渡部悠雅 (会津なぎなたスポーツ少年団)	新本みゆ・出合晃大 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)	柴山佳奈・吉村実友 (鯖江なぎなたクラブ)	林万依奈・山内彩香 (中野区なぎなた連盟)

試合競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学3年	泉水ほのか (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	宮田知颯 (愛知祥南なぎなたクラブ)	大沼紗菜 (多賀城なぎなた連盟)	武田日和 (さくらんぼなぎなたクラブ)
小学4年	橋垣苺佳 (島根県なぎなた連盟)	神山美完 (北条なぎなたスポーツ少年団)	櫻庭理子 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	杉本颯香 (武陵館中嶋道場)
小学5年	水尻祥子 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	片山眞那 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	木村実穂 (奈良市なぎなた連盟)	今井ここの (愛知武道館クラブ)
小学6年	田村百花 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	苗木ひかる (奈良市なぎなた連盟)	宮城昭奈 (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	林由季菜 (奈良市なぎなた連盟)
中学1年	小林春菜 (江東区なぎなた連盟)	片山千那 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	山根千慶 (養徳館)	青井千莉 (養徳館)
中学2年	織田千尋 (福井なぎなたクラブ)	前田愛梨 (愛知祥南なぎなたクラブ)	千坂妙恵 (秀光中等教育学校)	渡邊若奈 (弥富市なぎなた連盟)
中学3年	佐々木卯月 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	伊坂春音 (武陵館中嶋道場)	赤羽愛莉 (松本市田川なぎなたスポーツ少年団)	安井理緒 (高田中学校)
小学男子3・4年	高山清玄 (中野区なぎなた連盟)	高田 悟 (京都なぎなたクラブ)	上田侑駕 (館林スポーツ少年団なぎなたクラブ)	梅森煌凱 (宇都宮なぎなた教室)
小学男子5・6年	榎本遥斗 (奈良市なぎなた連盟)	河本日向 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	大沼怜史 (奈良市なぎなた連盟)	石橋佑真 (太田市なぎなた連盟)
中学男子	齋藤俊慧 (会津なぎなたスポーツ少年団)	藤城瑛人 (会津なぎなたスポーツ少年団)	杉浦杜思 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	古館佳樹 (会津なぎなたスポーツ少年団)

銃剣道

8月6日開催

団体戦

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学5・6年生	今津銃剣道スポーツ少年団（滋賀県）	名寄ビヤシリ銃剣道少年団（北海道）	勝北銃剣道クラブA（岡山県）	兵庫県選抜（兵庫県）
中学生	名寄ビヤシリ銃剣道少年団（北海道）	勝北銃剣道クラブ（岡山県）	春光武道スポーツクラブ（北海道）	七ヶ浜銃剣道スポーツ少年団C（宮城県）

銃剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	田中優羽（九徳塾）	柴田拓海（九徳塾）	中山結愛（今津銃剣道少年団）	衣川勇飛（九徳塾）
小学3年生	谷 誓哉（名寄ビヤシリ少年団）	須田琉唯（練馬銃剣道クラブ）	二木真那斗（勝北銃剣道クラブ）	西丸穂乃花（春光銃剣道クラブ）
小学4年生	高橋凌平（元氣道場）	松本奈衣瑠（今津銃剣道少年団）	小池陽子（元氣道場）	滝沢琉夏（元氣道場）
小学5年生	岸 泰生（本間道場）	佐原幸紀（揚武伊勢原道場）	高田 尚（名寄ビヤシリ少年団）	児玉聖矢（春光銃剣道クラブ）
小学6年生	内藤介斗（勝北銃剣道クラブ）	北出滉弥（今津銃剣道少年団）	今井文蒔（兵庫県選抜）	柴田裕次郎（松戸錬成館）
小学5・6年生 女子	吉見風香（今津銃剣道少年団）	寒河江瑞希（名寄ビヤシリ少年団）	二木美夢菜（勝北銃剣道クラブ）	澤田奈々花（揚武伊勢原道場）
中学1年生	福田啓星（千歳銃剣道クラブ）	渡辺泰雅（七ヶ浜銃剣道少年団）	田嶋康平（博真館）	安藤直斗（香川ジュニアクラブ）
中学2年生	高田 椎（名寄ビヤシリ少年団）	田中真太郎（九徳塾）	三浦佑磨（七ヶ浜銃剣道少年団）	寒河江優斗（名寄ビヤシリ少年団）
中学3年生	松浦豪士（春光銃剣道クラブ）	宮本晴飛（兵庫県選抜）	諏佐拓泉（滝川少年銃剣道）	徳丸亮雅（兵庫県選抜）
中学生女子	石岡悠来（春光銃剣道クラブ）	佐原真紀（揚武館伊勢原道場）	澤田百花（揚武館伊勢原道場）	冨田なひろ（福島市銃・短剣道少年団）

短剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	村上萌葉（山口県ジュニアクラブ）	山本好古（練馬銃剣道クラブ）	中山結愛（今津銃剣道少年団）	澤田 旭（揚武館伊勢原道場）
小学3・4年生	佐久間蒼太（名寄ビヤシリ少年団）	谷 誓哉（名寄ビヤシリ少年団）	松本奈衣瑠（今津銃剣道少年団）	松本羽響（春光銃剣道クラブ）
小学5・6年生	岩館康太（柴波銃剣道クラブ）	澤田奈々花（揚武館伊勢原道場）	松本亜衣奈（今津銃剣道少年団）	長久保真央（博真館）
中学生	坂詰瑞波（共栄館道場）	松浦豪士（春光銃剣道クラブ）	中川誉久（須賀川銃剣道少年団）	三浦佑磨（七ヶ浜銃剣道少年団）



《自由組演武》

◆中学生有段の部

佐藤天彩・大賀美凜（埼玉・埼玉三ヶ島道院拳友会）萩原佳里南・上原康生（埼玉・埼玉鶴瀬道院拳友会）小森丈司・松田大毅（千葉・大日道院拳友会）田中万琴・鈴木日菜・佐々木想人・森俊博（東京・東京試衛館道院拳友会）金子京介・丹沢真尋（東京・八王子陵北スポーツ少年団）金子佑哉・大芝瞬（神奈川・川崎柿生道院拳友会）高師遥・角田優奈（神奈川・厚木玉川スポーツ少年団）牧村真由菜・山口葉名（愛知・名古屋植田道院拳友会）片岡真登生・磯部航汰（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）石田朱里・中川未羽（京都・嵯峨野スポーツ少年団）名嘉海斗・森井悠朱（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）小林千夏・栗田晴菜（広島・福山南道院拳友会）

◆中学生段外の部

圓井空志・塩田和也（福島・福島鮫川道院拳友会）松本輝・稲見亮祐（栃木・栃木瑞穂道院拳友会）布田涼磨・吉水しえり（東京・八王子松枝道院拳友会）高橋花音・石川希恵（東京・立川第七中学校少林寺拳法部）井上拓人・寺澤慶（東京・東京足立東和道院拳友会）

◆小学生有段の部

吉田龍生・吉田祈代（岐阜・多治見青龍道院拳友会）永尾初姫・北川優登（愛知・一宮中部道院拳友会）山本翔・田村和也（福岡・福岡北道院拳友会）

《単独基本演武》

◆小学生4級の部

杜悠風（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）板垣志優（群馬・渋川道院拳友会）稲吉恵真（埼玉・埼玉神屋道院拳友会）岡村紅音（千葉・習志野台スポーツ少年団）和田航暉（千葉・千葉大綱道院拳友会）錦織翔（東京・武蔵国分寺支部）古村瑠菜（愛知・日進南道院拳友会）今西真央（大阪・泉南西信達道院拳友会）中川翔友（和歌山・南部スポーツ少年団）上野拓海（和歌山・南部スポーツ少年団）森澤結芽（和歌山・田辺西スポーツ少年団）小迫映楓（広島・福山南道院拳友会）小滝優弥（香川・観音寺こだるまスポーツ少年団）今富元（長崎・長崎川棚道院拳友会）

◆小学生6級～5級の部

圓堂紗希（埼玉・草加道院拳友会）岡田元気（埼玉・熊谷道院拳友会）増永結心（埼玉・埼玉川鶴道院拳友会）鈴木靖乃（埼玉・入間藤沢道院拳友会）横山心美（埼玉・浦和美園道院拳友会）小森星弥（千葉・大日道院拳友会）佐藤理博・平野稜大（千葉・木更津岩根道院拳友会）井達優惺（千葉・流山北道院拳友会）細野真優花（東京・加住小中学校少林寺拳法部）有元悠翔（東京・南中野道院拳友会）野崎賢鳳（東京・東京石神井道院拳友会）裏南琴和（東京・江東砂町道院拳友会）太平大智（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）齋藤巧弥・野崎祐生（愛知・名古屋伏屋道院拳友会）赤間福太郎（奈良・奈良郡山城道院拳友会）坂本龍成（和歌山・南部スポーツ少年団）森澤七海（和歌山・田辺西スポーツ少年団）吉本誠一朗（徳島・大麻スポーツ少年団）吉岡郁人（香川・タドツスポーツ少年団）

◆小学生見習い～7級の部

千葉真綾（宮城・青葉道院拳友会）小沼陸斗（茨城・水戸スポーツ少年団）秋山浩克（茨城・波崎スポーツ少年団）内山穂乃佳（群馬・渋川道院拳友会）金田奏明（群馬・群馬富岡道院拳友会）石川惺己（群馬・群馬多々良道院拳友会）中山公太（群馬・前橋中部道院拳友会）富田穂乃香・長沢悠生（埼玉・草加道院拳友会）笠原颯泰（埼玉・東松山スポーツ少年団）山崎聡大（千葉・木更津岩根道院拳友会）岡村昌信（千葉・習志野台スポーツ少年団）緑川慎弥（千葉・千葉富来田道院拳友会）織田一希（千葉・大日道院拳友会）稲毛風斗（東京・久米川道院拳友会）大竹雄真（新潟・新潟加茂道院拳友会）船橋一矢・齋藤旭（愛知・名古屋伏屋道院拳友会）坂本結彩・中内洋希（和歌山・南部スポーツ少年団）

《団体の部》

◆中学生の部

石井志龍・高橋右京・石井蓮・寺岡義瑛・木村健太・増田健（千葉・大日道院拳友会）山本雅貴・森下夏・岡田凜・武部周・小南雪乃・福井晴士郎（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）

◆小学生有段の部

神谷拓空・谷口瑠清・市古空・清水陽介・筒井鯛喜・古田敦士・松本梨沙・市古光音（愛知・豊田東道院拳友会）寺尾柁哉・川村元洋・牧村斗偉・中田暮翼・田中雅人・氏家祐・新郷考生・吉水友佑（愛知・名古屋太子道院拳友会）

◆小学生3級～1級の部

小松寄理未・倉谷佑希・武部文・辻川祐太郎・高橋羽流生・大月裕翔（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）坂本夏美・前田知範・杉本怜平・松本莉奈・前田明日香・新谷萌・中家寛太・矢田海都（和歌山・南部スポーツ少年団）

少林寺拳法 ―＜優秀賞＞― 8月9日開催

《規定組演武》

◆小学生1級

高橋哲哉・船山友菜（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）松本大智・中村勇陽（埼玉・熊谷道院拳友会）片田美琴・小山育斗（埼玉・朝霞道院拳友会）鈴木拳太郎・出牛悠紀（埼玉・入間藤沢道院拳友会）小林歩夢・天野正輝（千葉・大日道院拳友会）丹沢昇慎・小林正明（東京・八王子陵北スポーツ少年団）遠藤伸太郎・山口和馬（静岡・富士裾野スポーツ少年団）本木誠也・森亮真（静岡・浜北東部道院拳友会）玉井良侑・河原真二（奈良・大和郡山南道院拳友会）

◆小学生2級

館琉太郎・中島拓海（茨城・水戸スポーツ少年団）工藤優月・石井彩名（群馬・群馬富岡道院拳友会）稲毛颯斗・内田凱斗（東京・久米川道院拳友会）山岡天道・富永真杜（東京・東京田無道院拳友会）高橋千聖・西ノ村孔南（東京・東京試衛館道院拳友会）高松正矢・関口マイケル（東京・亀有道院拳友会）常廣珠実・常廣穂実（神奈川・川崎柿生道院拳友会）大庭夏音・原田菜々子（愛知・デンソー）小嶋桃子・諸岡幸恵（愛知・小牧篠岡道院拳友会）村上新・今西陽樹（大阪・泉南西信達道院拳友会）南部琴子・大山葵（和歌山・南部スポーツ少年団）中澤優希・野中拓永（徳島・大麻スポーツ少年団）

◆小学生3級

沼倉末磨・佐々木陸志（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）萩原小紀菜・城田悠基（群馬・前橋中部道院拳友会）小見一真・小田切紗羅（群馬・群馬北毛道院拳友会）初芝光貴・徳永文奈・天野瑛斗・木村萌音（千葉・大日道院拳友会）椎名瞳・佐久間日惟（千葉・市原東道院拳友会）和田知晃・和田尚晃（埼玉・和光新倉支部）向江泰雅・山城光平（岐阜・各務原中央スポーツ少年団）元田進・酒井夏帆（愛知・愛知浄水道院拳友会）政田啓希・石田俊裕（愛知・名古屋植田道院拳友会）

◆小学生4級

吉田雪乃・大久保杏優（岩手・盛岡北道院拳友会）瀬尾泰慶・有村歩実（東京・日本武道館武道学園）里見英杜・里見銀之丞（東京・東京試衛館道院拳友会）東海林萌香・清田悠生（東京・大森道院拳友会）加納茉莉・加納達哉（神奈川・横浜緑園道院拳友会）朝日隆仁・増田紘也（静岡・富士西道院拳友会）植田陽尚・山内萌花（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）村上薫・加納隼（大阪・泉南西信達道院拳友会）古谷佳大・御宮知大貴（奈良・大和郡山南道院拳友会）中村創太・鈴木明正（和歌山・南紀熊野スポーツ少年団）藤原匠・山下大和・小西杏奈・畑野結月・小田愛里・泰地音羽（和歌山・南部スポーツ少年団）藤村円香・倉田和佳（香川・観音寺こだるまスポーツ少年団）

◆小学生5級

丹野桃伽・熊木聖太（宮城・多賀城城南道院拳友会）齋藤歌乃・高橋美緒（宮城・青葉道院拳友会）渡部峻・齋藤楓（福島・白河東道院拳友会）久保摩知・国枝美玖（群馬・渡良瀬道院拳友会）小見崇真・藤井葉衣樹（群馬・群馬北毛道院拳友会）大角忠靖・岩田朋太朗（群馬・前橋橋道院拳友会）石岡愛将・角田大知・島田瑞穂・島田祥太郎（群馬・群馬北毛道院拳友会）山宮悠暉・清水亮佑（群馬・前橋橋道院拳友会）内山翔太・本多夏妃（群馬・渋川道院拳友会）箕輪光流・亀井陽生（群馬・渡良瀬道院拳友会）和田幸恵・大久保摩美（埼玉・和光新倉支部）本多陸・三尾康介・半田幹・林真歩（埼玉・朝霞道院拳友会）山田樹・山田蓮（埼玉・埼玉神川スポーツ少年団）秋本翼・新井一矢（埼玉・埼玉三ヶ島道院拳友会）小島拓也・藤田心音（千葉・我孫子道院拳友会）鈴木匠・松本海翔（千葉・大日道院拳友会）荒井天斗・田邊隆志（千葉・木更津岩根道院拳友会）小倉登茂・松丸唱平（千葉・我孫子道院拳友会）小宮諠将・濱口瞭（東京・八王子陵北スポーツ少年団）黒澤玲音・叶京平（東京・国立中支部）小作涼太・牛山ひより（東京・青梅永山道院拳友会）ヘイヴン光汰吉田・藤井哲生（東京・日本武道館武道学園）高見爽汰・島田匠（東京・東京試衛館道院拳友会）竹久保晴紀・重田颯汰（神奈川・足柄中井道院拳友会）原島美紀・佐藤志郎（神奈川・下溝スポーツ少年団）柴田蒼星・柴田珀瑠（岐阜・多治見青龍道院拳友会）磯部建太・牛島康太（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）牛田敏弘・篠田蓮斗（愛知・名古屋宝南道院拳友会）岡田瞭・武部鑑（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）松本竜太郎・今村駿介（熊本・阿蘇西原道院拳友会）

◆小学生6級

高木利緒・藤田拓朗（福島・福島鮫川道院拳友会）清水杏虹・大戸拓知（埼玉・朝霞道院拳友会）金子知生・渡部直樹（埼玉・埼玉久喜道院拳友会）飯島蓮・小菅陽太（千葉・流山北道院拳友会）前原隼人・内山寿安（東京・東京錦糸道院拳友会）小澤海風・橋本盛太郎（東京・八王子西道院拳友会）新倉一花・デニス日向（東京・多摩桜ヶ丘道院拳友会）小保田佳佑・南緑仁（神奈川・川崎柿生道院拳友会）関野竜希・莊司幸星（神奈川・足柄中井道院拳友会）大竹峻真・中林邦生（新潟・新潟加茂道院拳友会）増田棕太・中津聖（香川・タドツスポーツ少年団）

◆小学生見習い〜7級

飯塚葵・飯塚日向（群馬・群馬富岡道院拳友会）平井優汰・一場心実（群馬・渋川道院拳友会）霜鳥若菜・栗田陸・白石大晃・下川景虎（千葉・大日道院拳友会）石川皓大・奈加怜（東京・東京大崎道院拳友会）小作優斗・田代来久（東京・青梅永山道院拳友会）久保りんか・莊司星華（神奈川・足柄中井道院拳友会）平塚翔・亀井宏祐・名取彩・古賀陽樹・山口藍奈・今井聖人（神奈川・小田原道院拳友会）山本紘己・大室蓮（神奈川・川崎柿生道院拳友会）牛木碧海・酒井杏奈・竹久保皓也・柿崎亜門（神奈川・足柄中井道院拳友会）大川菜々未・大江里佳・泰地桜佑・石丸大喜（和歌山・南部スポーツ少年団）